

## 2021 年度全関東大会の安全指針

令和 3 年 3 月 11 日作成

### 始めに

**2021 年度全関東大会団体、個人予選及び同大会団体、個人決勝に参加する大学は以下第 1 部～第 3 部の感染対策の指針を確認してください。**

### 第 1 部

以下は、感染対策ガイドラインです。

大会前 2 週間は特に注意を払い、以下 1～5 を可能な限り遵守してください。

#### 1 基本

1.1 「3密」を避け、手洗い、用具等の消毒を十分に行うこと。

#### 2 道場利用者について

2.1 道場(施設内)に入る時には、先ず手指をアルコール消毒してから体温を測定し、  
37.5 度以上の熱のあるものは入館を控えること。

2.2 スマートフォンを携帯している者は、新型コロナウイルス接触確認アプリをインストールして活用することを強く推奨する。

2.3 App Store または Google Play で「接触確認アプリ」で検索してインストールしてください。

App Store

<https://apps.apple.com/jp/app/id1516764458>

Google Play

<https://play.google.com/store/apps/details?id=jp.go.mhlw.covid19radar>

#### 3 練習中について

3.1 射手間隔は 1.8 m 以上あけること。

3.2 行射中は、安全および熱中症等を考慮し、マスクの着用は不要とする。

3.3 更衣室、控室などではマスクを着用し、各自が 2 m 程度離れ、大声での会話はしないこと。

3.4 矢取りを担当した者は返却後、手の消毒を行うこと。

3.5 矢が返却され次第、各自の矢は各自が除菌シートなどで消毒すること。

- 3.6 他人の弓具に触れないこと。尚、弓道場の弓具を借用した場合は、使用前後に消毒を行うこと。
  - 3.7 弓具の貸し借りは原則禁止だが、教室などで共有する場合は使用者同士が消毒して渡すこと。
- 4 指導者について
- 4.1 指導者は特に手の消毒を頻繁に充分に行うこと。携帯の消毒液を持参するのが望ましい。
  - 4.2 マスクを着用し、指導対象者との距離を保つことが好ましい。
  - 4.3 接触指導はできるだけ避け、可能な限り言動で行うことが好ましい。
  - 4.4 多人数の場合は、指導対象者を1か所に集めるのは避け、時間を区切り分散指導を行うこと。
- 5 道場・施設を管理する者には、下記を実施することを願います。
- 5.1 感染者が利用者の中に発生した場合、同時期利用者に連絡が取れるように、連絡先を記した全員の入館記録を取り1か月保管すること。記録は、個人情報として取扱うこと。
  - 5.2 施設内入口に必ず非接触体温計を設置すること。
  - 5.3 アルコール消毒液を下記の場所などに設置すること。  
□道場出入口 □弓具収納場所 □トイレ □更衣室 □矢立て箱付近
  - 5.4 除菌シートを矢立箱付近に設置。
  - 5.5 道場出入口や窓などを開け、通気性のよい換気を行うこと。
  - 5.6 狭い更衣室では「3密」にならないよう使用制限を設けること。
  - 5.7 道場の広さによっては、時間帯で人数制限を行うなど考慮すること。

## 第2部

大会前2週間以内に参加大学の部内にて、感染が疑われる人や濃厚接触者に指定された人が出た場合、以下の通り対応してください。

- 1 保健所等の指示により感染者本人との濃厚接触が特定された部員はPCR検査を受けること。
- 2 あわせて学連に連絡すること。(個人情報を除いた内容である、検査対象となった部員の数及び保健所等の対応の連絡で構いません)
- 3 検査を受けた部員の検査結果が確認され次第、再度大会本部に連絡すること。

## 第3部

上記内容のほか、大会当日には以下のことに注意してください。

- 1 体調不良に関して
  - 1.1 以下に列挙する点を各自で確認すること。体調不良が疑われる場合、無理に参加しないように注意すること。
    - ・平熱を超える発熱
    - ・咳、のどの痛みなどの風邪症状
    - ・だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）
    - ・臭覚や味覚の異常
    - ・体が重く感じる、疲れやすい等
- 2 マスクに関して
  - 2.1 参加者は原則として着用分と予備を持参すること。大会期間は自宅から会場までの往復の際も着用すること。
- 3 検温に関して
  - 3.1 会場に入る人は全員、事前に（朝又は会場入り口にて）体温を測定すること。37.5度以上の発熱が確認された場合、原則としてその者の入場は認められない。
- 4 行射中に関して
  - 4.1 介添えによる指導は認める。ただし、マスクを着用のうえ射手との適切な距離を保つこと。
- 5 巻藁の利用に関して
  - 5.1 巻藁場では周辺の人との間隔をあけて並ぶこと。
- 6 大会後の参加者の安全管理に関して
  - 6.1 大会参加者は、大会後 2 週間程度は健康状況に留意すること。
  - 6.2 各大学ごとで来場者(手伝い役員を含む)の一覧を作成し、大会後 2 週間保管すること。